

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
121222048	住宅計画	大嶽 清和			2	選択	2後期

科目の概要

住宅は、『衣・食・住』という言葉にあるように、生活の最も基本的なところを担っている。本来あるべき住宅は、どのようなものであるかを、この授業を受けて身につける。住宅を考えるためには、必要な知識と情報を把握し、理解すると共に、基本的な考え方を整理し、その考え方をわかりやすく見える化する必要がある。授業では、住宅に関する基礎知識を学ぶとともに、学外研修による最新モデルハウス及び最新住宅設備機器（キッチン・ユニットバス・洗面化粧台・トイレ等）に関する情報を修得する。そして、将来、自分が住みたい住宅を創造する力を身につけるとともに、多様な生活スタイル・リズムを把握し、快適な住空間を演出・計画できる表現力も修得する。D P ②

学修内容	到達目標
① 住宅計画の基礎概念を学ぶ。 ② 敷地（土地）に関する基礎知識を学ぶ。 ③ 住宅内部の生活とプランニングの関係性を学ぶ。 ④ 最新モデルハウス及び住宅設備機器（キッチン・ユニットバス・洗面化粧台・トイレ等）ショールームを見学し、情報収集する。 ⑤ ゆとりのある住宅について学ぶ。 ⑥ 住宅を構成する素材の基礎を学ぶ。 ⑦ 生活の基盤となる安心な住宅について学ぶ。 ⑧ 街並みへの参加について学ぶ。 ⑨ 共に住む形（集合住宅）についての基礎知識を学ぶ。 ⑩ 将来、自分が住みたい家を創造する。	① 住宅計画学の役割、家と家族の関係性を理解する。 ② 敷地を調べる為の心構え、敷地周辺の状況と環境条件等を理解する。 ③ リビング・ダイニング・キッチン・寝室・子供部屋・水廻り・収納等のあり方について理解する。 ④ 最新モデルハウス及び住宅設備機器に関する感想を自分の言葉で、レポートにまとめることができる。 ⑤ ゆとりある空間、接客スタイル、生活を楽しむ空間、個人空間の充実等に関して理解する。 ⑥ 住宅を構成する素材・材料等を理解する。 ⑦ 住宅の耐震性、防犯性、耐久性等について理解する。 ⑧ 街並みに調和する住宅のあり方と外構計画（庭づくり）の重要性を理解する。 ⑨ 集合住宅の型式・分類・入居時の留意点・集合住宅の歴史の変遷等を理解する。 ⑩ 将来、自分が望む、住みたい家を具体的なイメージで表現できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	住宅に関する一般情報を自ら入手し、住宅に関する基礎知識の向上に取り組むことができる。
	働きかけ力	自分の考えた課題作品の内容をわかりやすく説明し、理解させることができる。
	実行力	学外研修に積極的に参加して、習得した新しい知識及び情報に関して、研修レポートとして自分の言葉で表現できる。
考え抜く力	課題発見力	自宅を調査し、住宅に関する課題（良いところ、悪いところ）を発見し、整理することができる。また、自宅周辺環境についても自ら調べることで、自宅周辺環境を確認することができる。
	計画力	将来、自分の住みたい住宅のデザインについて、具体的なイメージでわかりやすく計画し、表現することができる。
	創造力	住居計画の授業を通じて得た基礎知識及び住宅関連情報を基に、将来自分が住みたい住宅のイメージを具体的にわかりやすく創造することができる。
チームで働く力	発信力	学外研修において、皆で意見交換しながら自らの感想・意見をレポートとしてまとめる。
	傾聴力	授業内容をしっかり聞く姿勢で授業を受け、授業内容を理解する。学外研修において、説明者の話をしっかり聴き、説明内容を理解する。
	柔軟性	課題及びレポート提出において、皆で情報交換しながら協力して柔軟に対応する。
	状況把握力	学外研修を通じて、最新のモデル住宅及び住宅設備に関する情報を皆で協力して、情報収集にあたる。
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など授業の進行に支障をきたす行動は規律違反であることを理解している。課題及びレポートの提出期限を守ることができる。
	ストレスコントロール力	ストレスコントロール力を身につけるために、各自のコミュニケーション力向上につながる課題及びレポートを作成する。

テキスト及び参考文献

授業内容は、事前に手元資料として提供する。⇒必ず、予習・復習に活用することができる。毎週PCRシートを記入することで、授業内容の予習・復習を実施する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：インテリアデザイン、住文化論、住宅管理論、住生活論と連携することで、住宅計画の理解を高める。

学修上の助言	受講生とのルール
授業で得た住宅に関する基礎知識を基に、自己の住環境では、具体的にどうなっているかを照らし合わせて考えると理解が深まる。また、学外研修（最新モデルハウス・最新住宅設備機器ショールーム）で、現地現物で、ものを見ることが一番の学習である。配布資料は、講義内容と一致しているので、授業の予習・復習に必ず活用する。	興味のある学習テーマについては、関連情報を調べ、知識の深耕を目指してほしい。 試験による評価ではなく、課題・レポート・授業態度等で評価する。欠席により、課題・レポートが提出期限までに提出できない場合は、事前に友人または、教務課に渡して、必ず提出するようにする。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①		⑥		
				②		⑦		
				③		⑧		
				④		⑨		
				⑤		⑩		
	平常評価	小テスト	0	①		⑥		
				②		⑦		
				③		⑧		
				④		⑨		
				⑤		⑩		
		レポート	20	①		⑥		学外研修（①トヨタホーム及び②L I X I Lショールーム）で得られた住宅関連の最新情報について、自己の考え、感想、意見等を自分の言葉で的確に表現できる能力を評価する。※①トヨタホーム及び②L I X I Lショールーム：各10点
				②		⑦		
				③		⑧		
				④	✓	⑨		
				⑤		⑩		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	70	①	✓	⑥	✓	作品提出を3回実施（①自宅の調査：10点、②自分が望むリビング・ダイニング・キッチン：20点、③自分が将来住みたい住宅：30点）合計70点 作品の完成度（特に高い、完成度が高く表現にも工夫が見られる、完成しているが表現方法に努力と工夫が必要）で評価する
				②	✓	⑦	✓	
				③	✓	⑧	✓	
				④	✓	⑨	✓	
				⑤	✓	⑩	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	遅刻、無断欠席、学習意欲欠如、居眠り、課題やその他の提出物の未提出など授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。特に、授業中の居眠りについては、厳禁である。	
			②	✓	⑦	✓		
			③	✓	⑧	✓		
			④	✓	⑨	✓		
			⑤	✓	⑩	✓		
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達レベルA（優）の基準は、課題作品の完成度が高く、表現にも工夫と努力が見られ、丁寧でわかりやすい表現で仕上がっている場合とする。到達レベルS（秀）は、特に完成度が高い表現の課題作品となっている場合とする。また、レポートの評価については、学外研修の見学レポートとして、感想、意見、商品評価、感想等を自分の言葉で的確に表現できているかどうかを基準に評価する。	到達レベルB（良）の基準は、到達レベルA（優）にやや劣る表現内容の作品であるが、表現方法に工夫と努力がある程度感じられる作品となっている場合とする。到達レベルC（可）の基準は、課題表現のレベルが大きく劣る場合とする。また、レポートの評価については、学外研修の見学レポートとして、達成レベルA（優）にやや劣るが、ある程度の確に表現できているかどうかを基準に評価する。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	住宅のあり方の基本は、家族であり、住むことの意味、家を建てる目的等を学ぶ	講義 課題出題	住宅と家族生活の関係性について概ね理解できる	(予習) 敷地をよむ(敷地に関する基礎情報) (復習) 住まいとは(住宅計画の基礎概念)	180	課題発見力 傾聴力 規律性
2	土地の秩序・家の配置・法規制を学び、住居と周辺環境との関係性を認識する	講義 優秀作品講評	敷地(土地)に関する基礎知識・情報を概ね理解できる	(予習) 住宅のプランニングN01(パブリックエリア) (復習) 敷地に関する基礎知識の習得	180	課題発見力 傾聴力 規律性
3	住宅の内部空間(リビング・ダイニング・キッチン・浴室・WC等)のあり方を学ぶ	講義 課題出題	住宅の内部空間(リビング・ダイニング・キッチン・浴室・WC等)のあり方を概ね理解し、把握できる	(予習) 住宅のプランニングN02(プライベートエリア) (復習) 住宅のプランニングN01(パブリックエリア)	180	創造力 傾聴力 規律性
4	住宅の内部空間(寝室・納戸・階段等)のあり方を学ぶ	講義 優秀作品講評	住宅の内部空間(寝室・納戸・階段等)のあり方を概ね理解し、把握できる	(予習) トヨタホームの情報収集 (復習) 住宅のプランニングN02(プライベートエリア)	180	課題発見力 傾聴力 規律性
5	学外研修: 最新戸建住宅のモデルハウス(トヨタホーム)見学し、その特徴を理解する	情報収集(調査) レポート課題出題	最新戸建住宅のデザイン性・機能性等の基礎知識を概ね把握し、その特徴について自分の言葉でわかりやすく簡単に記述できる	(予習) 住まいのゆとり事例 (復習) トヨタホーム見学レポート作成	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
6	ゆとりある住まいを実現する為の方法(事例)を学ぶ	講義	ゆとりある住宅の内部空間を実現する方法を概ね理解できる	(予習) 住宅建材の基礎知識 (復習) ゆとりある住宅の事例	180	課題発見力 傾聴力 規律性
7	建築材料の基礎知識を学び、住宅にどう生かされているかを理解する	講義	建築材料の素材特性の基礎知識を概ね理解できる	(予習) 現代住宅の家相に関する基礎情報 (復習) 住宅建材の基礎知識	180	傾聴力 規律性
8	現代住宅の家相に関する基礎情報を学ぶ	講義	住宅計画と家相の関係性の基礎情報を概ね把握できる。	(予習) 住宅の安全性N01 (復習) 住宅家相の基礎知識	180	傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	安心な住まいを実現する方法を学ぶ（地震・防犯・環境）	講義	安心して暮らせる住宅のあり方を概ね理解できる（地震・防犯・環境等）	（予習）住宅の安全性 N02 （復習）住宅の安全性 N01	180	傾聴力 規律性
10	安心な住まいを実現する方法を学ぶ（耐久性・健康・長寿等）	講義	安心して暮らせる住宅のあり方を概ね理解できる（耐久性・健康・長寿等）	（予習）L I X I L 商品情報 （復習）住宅の安全性 N02	180	傾聴力 規律性
11	学外研修：最新の住宅設備機器（LIXIL ショールーム）見学し、その特徴を学ぶ	情報収集（調査） レポート課題出題	最新住宅設備機器のデザイン・性能等の基礎情報を把握し、その特徴について、自分の言葉で、わかりやすく簡単に記述できる	（予習）街並み形成に関する基礎知識 （復習）L I X I L 商品情報	180	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
12	住宅と街並み形成の関係性について学ぶ	講義	街並み形成の重要性を概ね理解できる	（予習）集合住宅に関する基礎知識 （復習）住宅と街並みの関係性	180	傾聴力 規律性
13	共に住む住まいの多様なあり方を学ぶ ※最終課題提示：将来、自分が住みたいと望むMYハウスを作成する	講義 課題出題	集合住宅に関する基礎知識（形式・分類・入居時の留意点等）を概ね理解できる	（予習）住宅リフォームのポイント （復習）集合住宅に関する基礎知識	180	創造力 傾聴力 規律性
14	家族周期と住宅要求の関係性を学び、住み継ぐ作法及びリフォームのポイントを学ぶ	講義	生活の変化に呼応する住宅リフォームのポイントを概ね理解できる	（予習）世界の家・日本の家事例 （復習）住宅リフォームのポイント	180	傾聴力 規律性
15	世界の家・日本の家の事例を学び、その特徴を認識する	講義 優秀作品講評	講義の集大成として、将来自分が住みたい住宅を考えて、わかりやすく表現することができる。	（予習）特になし （復習）世界の家・日本の家事例 今回講義内容	180	創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力